

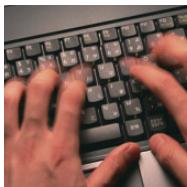
MORI SEIKI
THE MACHINE TOOL COMPANY



第62期

2009年4月1日—2010年3月31日

株主 通信



株式会社 森精機製作所

(証券コード：6141)

Striving to become **GLOBAL ONE**

お客様にとって、一番の工作機械メーカーでありたい。

世界中のモノづくりの現場をこれからも支えていきたい。

常にモノづくりの原点を支える工作機械の総合メーカー、森精機製作所。

自動車や船舶、航空機、ロケットから医療分野まで、
およそさまざまな製品の開発や製造に関わっています。

工作機械の新しい価値を世界中のお客様に提供することで、
豊かな社会づくりに貢献していくこと、これが私たちの使命です。

連結売上高

(単位：百万円)



連結営業利益

(単位：百万円)



連結当期(中間)純利益

(単位：百万円)



ごあいさつ

グローバルな事業展開を進め、 中長期的な成長に向けた施策を実行します。

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

ここに第62期(2009年4月1日から2010年3月31日まで)の株主通信をお届けするにあたり、ごあいさつを申し上げます。

当期の工作機械業界における受注の環境は、依然として厳しい状況が続いておりますが、後半にはアジア、中国をはじめとした海外向けの需要の回復が見られました。日本工作機械工業会発表の工作機械受注額は、昨年12月から前年同月比増を継続しており、当社グループの営業活動においても、北米、中国、インドなどの地域では需要の力強い回復が見られ、今後の受注の拡大は十分期待できるものと考えております。

このような経営環境下において当社グループは、第二次中期経営計画「PQR555」に取り組み、製造コスト削減や国内外の販売・サービス網の再編を進め収益構造を強化する一方、継続して製品開発へ経営資源を投入し、先進国からの大型機・重切削機・5軸機・複合加工機への要求及びアジア諸国からの軽切削小型機への期待に応え、斬新な設計による新世代の大型機と高精度かつコストパフォーマンスに狙いを絞った小型機の開発を進めてまいりました。今年度はこれらの新機種を一齐に投入いたします。また、人材育成、製品品質向上活動など、経営体質の強化に取り組み、今後の需要拡大局面にもお客様の要望に迅速に応える体制を整えております。

グローバルな工作機械市場でのリーダーシップの確立を目指した独国GILDEMEISTER AG(以下、ギルデマイスター)との協業は、相互のOEM供給による製品ラインアップの充実を図り、タイ、インドネシア、台湾、トルコ、日本等の拠点を統合し共同販売・サービスを開始するなど確実に進展しております。また、工作機械の主要部品(主軸、ボールねじ、刃物台)の供給や部品標準化による共同調達を拡大しており、大きなコスト削減につながります。今後は、OEMの相互供給の拡大に当たって、新機種の共同開発も進めてまいります。

また、当社は、平成22年3月31日に株式会社マグネスケールの全株式を取得し、連結子会社としました。同社は、ソニー株式会社の100%子会社であるソニーマニュファクチャリングシステムズ株式会社が計測機器事業(マグネスケール、レーザースケール及びデジタルゲージにかかる事業)を会社分割して設立したものです。切削工具や加工対象物の位置を測定して精度補正を行う計測機器は、工作機械の精度向上に重要な要素となり、競業他社との差異化を実現いたします。

今後の成長を見据えた事業展開を積極的に行う一方、強固な財務体質を維持するため、昨年12月に公募増資及び第三者割当増資により168億円の資本増強を実施いたしました。

当社グループは、引き続きグローバルな事業展開を進め、中長期的な成長に向けた施策を積極的に実行してまいります。

利益配分につきましては、将来の事業計画、業績、財務状況、新製品や新技術を中心とした開発投資及び設備投資の充実などを総合的に考慮し、安定的かつ継続的に配当を実施していくことを基本方針としております。第62期の期末配当につきましては、当社の業績と経済情勢を勘案し、1株あたり10円を6月21日からお支払いすることといたします(中間配当金と合わせ通期では20円となります)。

今後とも、さらなる業績拡大へ邁進する所存でございますので、株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2010年6月



取締役社長
工 学 博 士 森 雅 彦

製品情報

さまざまな分野で活躍する製品づくりに、森精機のマザーマシンが活躍しています。



自動車

身近な存在である自動車やオートバイの部品の多くは、工作機械から生み出されています。特に自動車はすべての産業の中で、最も工作機械が活躍している分野です。



トランスミッションケーシング



CNC旋盤

[工作機械の代表]

主軸によりワーク(加工物)に回転運動を与え、切削工具を押し付けて旋削加工を行う工作機械の代表機種。



船舶・建機

都市建設に活躍するブルドーザーやパワーショベルといった建設機械、人や物資を大量に輸送することのできる船舶の大型部品も工作機械から生み出されています。



スクリュー



航空・宇宙

航空機やロケット、人工衛星など高度な技術と精度が要求される航空宇宙産業は、現代社会における最先端分野のひとつです。

高精度な部品加工を通して、最新の航空機やロケットの開発・製造を工作機械は支えています。



高圧コンプレッサハウジング



マシニングセンタ

[多機能タイプの工作機械]

固定したワークに対して、主軸に装着した回転工具で切削を行う工作機械。主軸の位置に応じて立形と横形があります。



発電・資源・エネルギー

世界の原動力となるエネルギー分野の諸産業も、石油探掘装置の部品加工などを通して、工作機械と密接に関わっています。海底や砂漠といった過酷な状況下で行われる石油探掘の現場も、工作機械の多大な恩恵を受けているのです。



ビット



電機・通信・半導体

デジタルカメラや液晶テレビに代表されるデジタル家電、高機能化が進む携帯電話などの活発な製品開発に伴い、半導体製造装置や液晶製造装置の設備需要が高まっています。工作機械は、こうした装置部品の加工を通して、製品の開発サイクルの短縮に貢献しています。



ハウジング(真空ポンプ)



精密・金型

あらゆる製品の品質を決定付ける金型から、微細化・高精度化が進む精密部品まで、高度な加工が要求される分野においても工作機械は欠かせません。工作機械が進化することで金型や精密部品の品質は高まり、優れた製品が世に送り出されています。



テールランプ用コア金型



医療

日進月歩で進む医療分野の発展も、工作機械が支えています。CTスキャン、MRIなど最新の医療機器の部品から、人工関節や人工骨など人体内に直接装着する医療器具まで、高品位かつ超高精度が求められる加工も工作機械が実現しています。



歯科治療用高速スピンドルヘッド



複合加工機

[新時代の工作機械]

1台のマシンに複数の工程を集約してマシニングセンタと旋盤を凌ぐ加工能力を発揮。ワークの材料や形状の多様化・複雑化に対応することができ、生産性を大きく向上させます。

中期経営計画

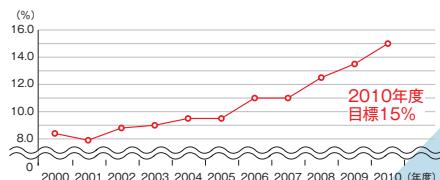
全世界のお客様に第一級の製品とサービスをご提供するために。

当社グループは、2008年度から2010年度の3年間を実行期間とする第二次中期経営計画「PQR555」を推進しております。Pは人材(People)、Qは品質(Quality)、Rはリスク管理(Risk Management)のそれぞれ頭文字を、555は目標とする数字を表現しております。PQR555の基本方針は(1)成長の持続、(2)収益構造の強化、(3)グローバル経営品質の確立を3つの柱としています。「第一級のお客様」に対し、「第一級の製品」、「第一級のサービス」を「第一級の社員」が提供することにより「グローバルワン」を達成します。



1 成長の持続

日本、米州、欧州など成熟した市場での安定した成長を図る一方、急速な成長を遂げているBRICsなどエマージング市場においては、積極的なシェア拡大を目指します。



成長の持続

2 収益構造の強化

損益分岐点を大幅に引き下げる取り組みを強化し、収益構造の強化を図ります。そのために設計段階での原価低減を図るとともに、生産効率及び物流効率の向上を図り、製造原価・材料費の低減を追求します。

収益構造の強化

グローバル経営品質の確立

3 グローバル経営品質の確立

P 人材(People)は、「PQR555」を達成するための必須要素としてグローバル人事管理の導入やスキルに応じた社員教育の実施を進めています。

Q 品質(Quality)においては、高精度高効率な加工を追求するため、全機種において具体的な精度目標を設定し、改善改良を緻密に行うことのお客様満足度の向上を図ります。

R リスク管理(Risk Management)においては、法令順守、事業活動リスク対策の徹底を図ります。また、事業継続計画の策定にも注力し、万一の災害時にもお客様の操業を止めないことを第一に業務を行ってまいります。

トピックス

GILDEMEISTER AG (DMG)との業務及び資本提携。

グローバルな工作機械市場でのリーダーシップ確立を目指して

2009年3月に始まった両社の業務及び資本提携は、販売拠点の統合、部品供給、共同開発、顧客向けファイナンス事業など、飛躍的に進展しており、両社の有する技術的な優位性と強力な販売網を合わせたサービスで、これまで以上にお客様の生産性の向上に貢献していきます。今後も両社の強固な協力関係のもと、工作機械市場における事業展開をさらに拡大、強化いたします。



GILDEMEISTER AGの会社概要

名称	GILDEMEISTER AG	業績(2009年1月~2009年12月)
主な事業内容	工作機械の製造、販売	売上高 1,181百万ユーロ
設立年月日	1870年(明治3年)10月1日	営業利益 32百万ユーロ
本店所在地	Gildemeisterstr. 60 D-33689 Bielefeld Germany	純利益 5百万ユーロ 総資産 1,153百万ユーロ
代表者	Ruediger Kapitza CEO	
資本金	118.5百万ユーロ	当社グループはDMG株式を2,279,500株保有する筆頭株主です。
従業員数	5,450名(連結)	

協業事例紹介

1

販売拠点の統合

2009年7月からの拠点統合は、9ヶ国(タイ・インドネシア・台湾・トルコ・日本・韓国・オーストラリア・米国・インド)を数え、即時に対応できるサービス体制を構築しています。



DMG / MORI SEIKI USA
本社(米国 イリノイ州)
2010年4月1日より
共同販売・サービスを開始

2

共同開発

DMG上海工場で生産された立形マシニングセンタ、ターニングセンタを当社の製品ラインアップに追加。また、森精機からは高精度大型複合加工機をDMGにOEM供給。お客様の要求に幅広く対応しています。



DMG上海工場で生産される
ターニングセンタ「DuraTurn 310 eco」



長尺・大径ワークの高速・高精度加工を可能にした
大型複合加工機 「NT6600 DCG」

3

リース事業会社を設立し 顧客向けファイナンス事業に参入

三井物産株式会社とDMG・森精機の三社共同出資により、お客様の購入支援を目的とするリース事業会社設立を構想。顧客のキャッシュフロー負担を軽減することで、既存顧客の受注拡大、新規顧客の開拓を進めてまいります。



4

コレット事業継承

DMG子会社のコレット生産を森精機子会社のToblerが継承。工作機械に必要なコレットのラインアップ充実により、お客様へより幅広い生産改善を提案します。



工作機械の部品コレット

株式会社マグネスケールが森精機グループに。

Magnescale

ソニーマニュファクチャリングシステムズ株式会社の計測機器事業を譲り受け、同事業は2010年3月31日に株式会社マグネスケールとして営業をスタートしました。計測機器は、モノづくりの精度を決める非常に重要な機器です。同社の主力製品であるマグネスケールやレーザスケールは、工作機械や産業機械、半導体製造装置などの精密機械の高精度化に不可欠な部品です。また、デジタルゲージは自動車

の組立ラインなどで広く利用されています。今回の事業譲渡により、森精機グループの基盤を生かした工作機械のさらなる高精度化はもちろんのこと、あらゆる精密機械の高精度化に向けた技術的シナジーを創出していきます。同時に、お客様と製品のアプリケーションの裾野を広げ、積極的な事業拡大を図っていきます。

<h3>デジタルゲージ</h3>  <p>インプロセス等の検査ラインでの寸法計測 【耐環境性】 振動・衝撃(0.1μm~10μm)</p>	<h3>マグネスケール</h3>  <p>工作機械や産業機械の位置、角度計測 【耐環境性】 油漏れ・結露・振動・衝撃(0.01μm~10μm)</p>	<h3>レーザスケール</h3>  <p>半導体製造装置等の位置計測、HDD製造装置の角度計測 【超高分解能】 pm(15.6pm~10pm)</p>
<p>【アプリケーション】 自動車業界、エレクトロニクス業界</p>	<p>【アプリケーション】 工作機械、産業機械</p>	<p>【アプリケーション】 半導体製造装置、超精密加工機</p>

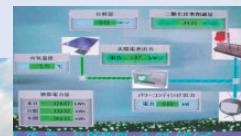
太陽光発電の設置

当社では、「環境資源を大切に地球環境を守る」という経営理念に基づき、「森精機エコポリシー」を策定しています。

伊賀事業所では、森精機エコポリシーに基づき、環境に優しい太陽光発電設備を導入いたしました。この太陽光発電設備は、DMGグループのドイツo+f社から輸入した太陽位置移動システムを搭載しており、太陽の移動に合わせてソーラパネルを東西方向に移動させ、太陽とソーラパネルが常に向かい合っている状態を保つことで、固定式のものと比較して発電効率が35%向上するというものです。伊賀事業所にお越しの際は、豊かな自然環境とマッチした太陽光発電設備をご覧ください。



伊賀事業所に設置された太陽光発電設備



【太陽光発電設備概要】
発電容量
30kw×2基(一般家庭20軒分)
太陽パネル
147枚×2基(京セラパネル)

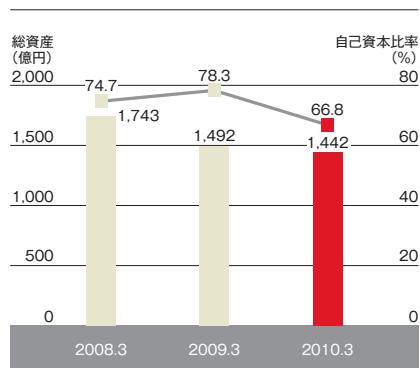
財務諸表(要旨)

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	2009年3月31日現在	2010年3月31日現在
【資産の部】		
流動資産	78,773	62,733
固定資産	70,442	81,433
有形固定資産	54,539	57,657
無形固定資産	5,323	7,757
投資その他の資産	10,579	16,018
資産合計	149,216	144,166
【負債の部】		
流動負債	24,342	34,983
短期借入金	10,298	18,550
製品保証引当金	1,192	845
役員賞与引当金	25	—
賞与引当金	—	234
その他	12,826	15,353
固定負債	5,945	10,465
新株予約権付社債	2,583	2,583
退職給付引当金	641	312
その他	2,720	7,570
負債合計	30,287	45,449
【純資産の部】		
株主資本	117,723	97,271
資本金	32,698	41,132
資本剰余金	45,429	53,863
利益剰余金	50,184	12,820
自己株式	△ 10,589	△ 10,544
評価・換算差額等	△ 922	△ 1,002
その他有価証券評価差額金	1,193	1,750
繰延ヘッジ損益	1,202	943
土地再評価差額金	1,545	1,545
為替換算調整勘定	△ 4,864	△ 5,242
新株予約権	828	1,533
少数株主持分	1,300	914
純資産合計	118,929	98,717
負債・純資産合計	149,216	144,166

総資産／自己資本比率



■資産

流動資産は前期末比、20.4%減少：

現金及び預金が6,936百万円、棚卸資産が4,854百万円それぞれ減少しています。

固定資産は前期末比、15.6%増加：

有形固定資産に含まれているリース資産が4,262百万円、投資その他の資産に含まれている投資有価証券が4,368百万円それぞれ増加しています。

この結果、総資産は前期末比、3.4%減少しています。

■負債

流動負債は前期末比、43.7%増加：

支払手形及び買掛金が2,713百万円、短期借入金が8,252百万円それぞれ増加しています。

固定負債は前期末比、76.0%増加：

リース債務が4,159百万円増加しています。

■純資産

純資産合計は前期末比、17.0%減少：

公募増資及び第三者割当増資により資本金及び資本準備金がそれぞれ8,433百万円増加した一方で、当期純損失を34,693百万円計上しています。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	自 2008年4月 1 日 至 2009年3月31日	自 2009年4月 1 日 至 2010年3月31日
売上高	157,203	66,402
売上原価	98,304	55,204
売上総利益	58,898	11,198
販売費及び一般管理費	52,976	38,131
営業利益又は営業損失(△)	5,922	△ 26,933
営業外収益	697	1,289
営業外費用	3,422	956
経常利益又は経常損失(△)	3,197	△ 26,599
特別利益	31	1,056
固定資産売却益	31	20
投資有価証券売却益	-	1,006
関係会社株式売却益	-	29
特別損失	1,947	9,097
固定資産売却損	4	14
固定資産除却損	599	94
減損損失	128	233
投資有価証券評価損	1,211	32
その他の投資評価損	3	8
事業構造改革費用	-	8,714
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	1,281	△ 34,640
法人税、住民税及び事業税	1,727	739
法人税等調整額	1,427	55
法人税等合計	3,155	795
少数株主利益又は少数株主損失(△)	279	△ 743
当期純損失(△)	△ 2,153	△ 34,693

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前期	当期
	自 2008年4月 1 日 至 2009年3月31日	自 2009年4月 1 日 至 2010年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,564	△ 15,995
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 11,424	△ 12,894
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 507	21,477
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 708	△ 44
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少額)	△ 4,075	△ 7,457
現金及び現金同等物の期首残高	17,916	14,255
新規連結に伴う現金及び 現金同等物増加額	414	457
現金及び現金同等物の期末残高	14,255	7,255

- 営業活動によるキャッシュ・フロー
主な増加要因は、売上債権の減少1,282百万円、棚卸資産の減少6,039百万円、仕入債務の増加1,283百万円であり、主な減少要因は、税金等調整前当期純損失34,640百万円です。
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
主な要因は、投資有価証券の取得による支出5,430百万円、有形固定資産の取得による支出5,639百万円、無形固定資産の取得による支出2,573百万円です。
- 財務活動によるキャッシュ・フロー
主な増加要因は、株式の発行による収入16,769百万円、短期借入金の純増加額7,602百万円であり、主な減少要因は、配当金の支払額2,657百万円です。

■ 事業構造改革費用

事業構造改革費用の主なものは、早期退職に伴う退職一時金や事務所等の統廃合費用です。

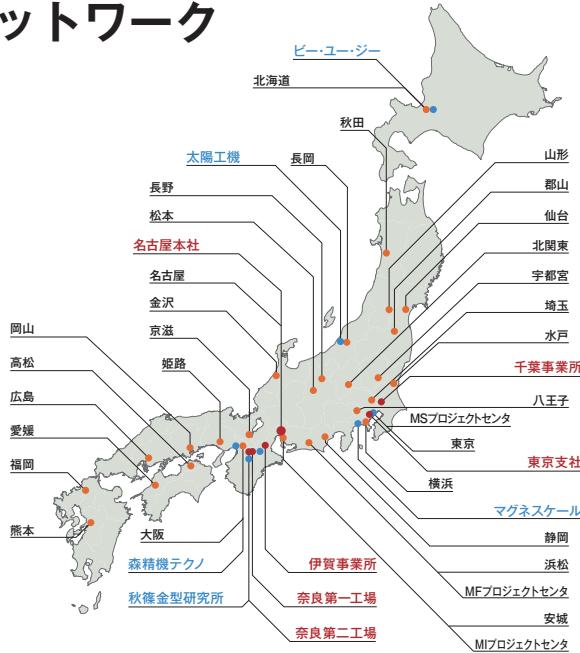
連結株主資本等変動計算書

当期(自 2009年4月1日 至 2010年3月31日)

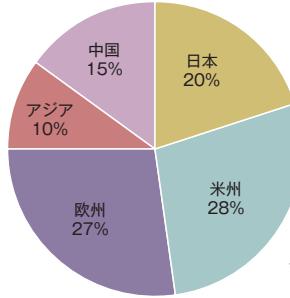
(単位:百万円)

区分	株主資本					評価・換算差額等					新株 予約権	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主 資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算差 額等合計			
2009年3月31日残高	32,698	45,429	50,184	△ 10,589	117,723	1,193	1,202	1,545	△ 4,864	△ 922	828	1,300	118,929
連結会計年度中の変動額													
新株の発行	8,433	8,433			16,867								16,867
剰余金の配当			△ 2,657		△ 2,657								△ 2,657
当期純損失(△)			△ 34,693		△ 34,693								△ 34,693
自己株式の取得				△ 1	△ 1								△ 1
自己株式の処分			△ 13	45	32								32
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					-	556	△ 258	-	△ 377	△ 79	704	△ 385	239
連結会計年度中の変動額合計	8,433	8,433	△ 37,363	44	△ 20,451	556	△ 258	-	△ 377	△ 79	704	△ 385	△ 20,211
2010年3月31日残高	41,132	53,863	12,820	△ 10,544	97,271	1,750	943	1,545	△ 5,242	△ 1,002	1,533	914	98,717

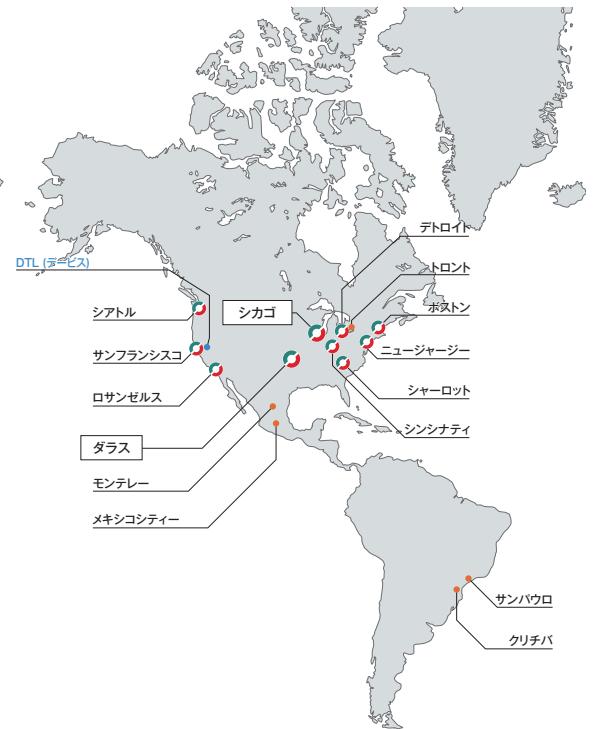
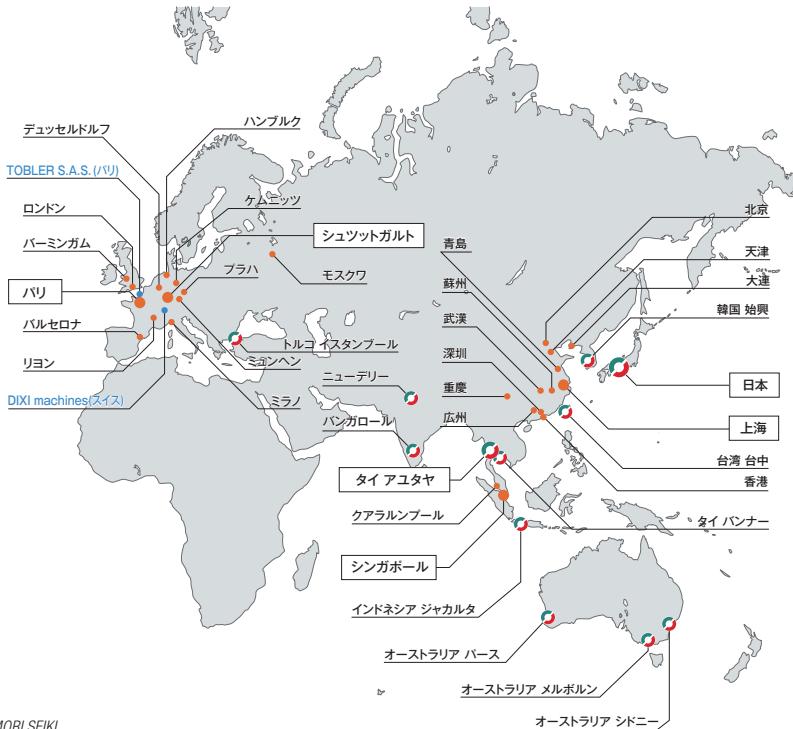
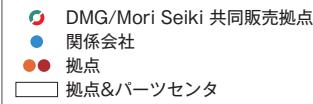
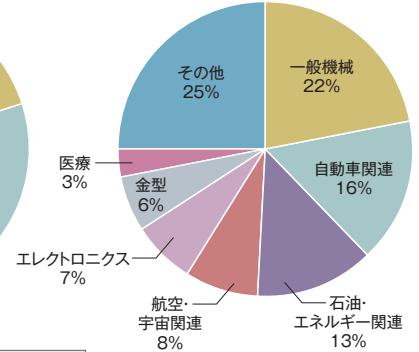
ネットワーク



■受注高の構成(地域別)



■受注高の構成(業種別)



会社データ

会社の概要

2010年3月31日現在

会社名 株式会社森精機製作所 (MORI SEIKI CO., LTD.)

資本金 41,132百万円

設立 1948年10月

本店(登記上) 奈良県大和郡山市北郡山町106番地

名古屋本社 〒450-0002 名古屋市中村区名駅2丁目35-16

TEL:052-587-1811(代)

東京支社 〒108-6018 東京都港区港南2丁目15番1号 品川インターシティA棟 18階

TEL:03-5460-3570(代)

主な事業内容 工作機械(マシニングセンタ、数値制御装置付旋盤及びその他の製品)の製造及び販売

従業員 2,377名(個別)/3,816名(連結)

ホームページ <http://www.moriseiki.com/>

役員 取締役社長 ※ 森 雅彦 専務取締役 玉井 宏明

(2010年6月18日現在) 取締役副社長 ※ 水口 博 常務取締役 高山 直士

取締役副社長 斎藤 豪 常勤監査役 影山 康二

取締役副社長 平元 一之 監査役 前堀 克彦

取締役副社長 近藤 達生 監査役 野一色 靖夫

(注)1. ※印は代表取締役を示しています。 監査役 加藤 由人

2. 監査役の前堀克彦、野一色靖夫、加藤由人の3氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

株式の状況

2010年3月31日現在

発行可能株式総数 157,550,000株

発行済株式の総数 110,602,015株(自己株式7,873,297株を除く)

単元株式数 100株

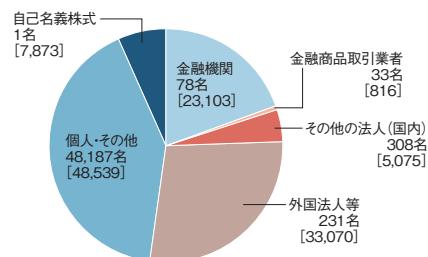
期末株主数 48,838名

大株主

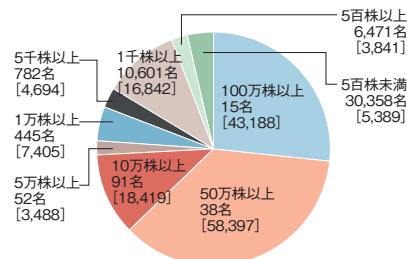
株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	議決権比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,079	4.59
森 雅彦	4,615	4.17
ギルデマイスター アーゲー (常任代理人 クレディ・スイス証券株式会社)	4,427	4.00
ザバンク オブ ニューヨーク・ジャスディック・トリートリー アカウント (常任代理人 株式会社みずほコーポレート銀行決済営業部)	4,052	3.66
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,316	3.00
ジェビー・モルガン・チェース・バンク 3850 78 (常任代理人 株式会社みずほコーポレート銀行決済営業部)	2,309	2.09
森 智恵子	2,287	2.07
森 優	1,890	1.71
ステート・ストリート・バンク・アンド・トラスト・カンパニー (常任代理人 株式会社みずほコーポレート銀行決済営業部)	1,672	1.51
NCT信託銀行株式会社(投信口)	1,236	1.11

(注) 当社は、自己株式(7,873,297株)を保有していますが、上記大株主からは除いております。

所有者分布状況 [単位:千株]



所有株式数別分布状況 [単位:千株]



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行業 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 ☎0120-094-777 (通話料無料)
同連絡先	株式会社東京証券取引所 市場第1部 株式会社大阪証券取引所 市場第1部
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 市場第1部 株式会社大阪証券取引所 市場第1部
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.moriseiki.com/japanese/index.html (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード **6141**

いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝(図書カード500円)
を呈呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社エーツーメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツーメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなります。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

当社ではホームページにて
当社の企業情報を随時開示しています。
製品紹介、各種リンク、サポート情報等を掲載しているほか、
IR情報のサイトでは決算短信等がご覧いただけます。

<http://www.moriseiki.com/>

